

# 34

レコードの価値

レコードの価値は、  
「2着以下の馬との差」と  
「自分で作ったものかどうか」。

🐾 レコードタイムには信じてよいものと疑ってかかったほうがよいものがある。両者を隔てる基準は、「2着以下の馬との差」と「自分で作ったものかどうか」である。2着以下の馬との差が大きければ、その馬は強いレースをしたと考えてよく、そのレコードタイムは価値がある。また、誰かに引っ張ってもらったのではなく、自らの力で刻んで作ったレコードタイムでないと、本当の意味において能力の証明にはならないのである。

📖 参照コラム 「レコードの信憑性」(p.129)

# 33

レース間隔は開き過ぎてもよくない

本番までのレース間隔が  
中4週以上ある  
前走の勝ち馬は疑ってかかれ。

🐾 本番のレースまで中4週以上ある場合、いったん緩めてから仕上げ直すか、それとも現状の体調を維持するか、調教師にとって見極めが難しい。特に前走を勝利した馬は、その時点でピークの体調にあった(仕上がっていた)可能性が高く、体調をそのまま維持するのは難しい。また、本番まで時間があり過ぎると、それだけ人間からのプレッシャーを感じて、馬も疲れてしまう。

📖 参考レース 2009年皐月賞(ロジュニヴァース)